

令和4年度地域自立支援協議会交流会 開会の挨拶

本日は御多忙のところ、「令和4年度地域自立支援協議会交流会」に御参加いただき、ありがとうございます。

この交流会は、各区市町村と東京都の自立支援協議会活動の活性化を目指し、協議会に関わる皆様と情報交換を行い、交流を深める機会として、例年開催しているものでございます。コロナ禍のため、昨年はオンライン方式で開催いたしましたが、参加者からは、オンラインでは、グループ討議の際に初対面の方同士で話題を広げていくのはなかなか難しい、といったお声も複数ございました。

そのため、今年度は、いわゆる「3密」を避けるなど、できる限りの感染防止策をとった上で、集合形式で開催することといたしました。

皆様には、グループ討議の個別会場への移動等、御不便をおかけすることもあるかと存じますが、何卒御理解、御協力をいただきますようお願いいたします。

さて、今年度の東京都自立支援協議会は、「当事者の声・願いを中心に、地域移行・地域生活支援の課題を考える」を活動方針として活動を進めております。

その一環として、本日の交流会では、「地域での暮らしに欠かせない社会資源を考える～それぞれの立場から～」をテーマに、話題提起、続いてグループ討議を実施いたします。

具体的には、まず、本交流会のテーマを選定した理由等について、都の協議会副会長から簡単に御紹介した後、障害当事者の方々、そして御家族から、障害のある方の地域での暮らしについてそれぞれお話ししていただき、後半では、話題提起の内容も踏まえながら、グループに分かれて意見交換を行っていただくこととしております。

地域移行・地域生活支援を進める上で欠かせない社会資源について、各地域の状況を共有し、自立支援協議会として、その充実にどのように取り組んでいくか、今後の取組に向けたヒントを持ち帰っていただければ幸いです。

なお、本日は、都内の自立支援協議会の活動状況などをまとめた冊子、「令和3年度版 東京都内の自立支援協議会の動向」をお手元に配布しております。

作成に御協力いただいた各区市町村の協議会関係者の皆様に、この場をお借りして御礼申し上げますとともに、本日のグループ討議、そして今後の協議会活動にも御活用いただければと存じます。

改めて申し上げるまでもなく、自立支援協議会活動の根幹は、皆様の地域における日々の取組にございます。

私ども東京都心身障害者福祉センターは、東京都自立支援協議会の事務局として、今後とも皆様と連携を図り、活動の充実につながる情報共有を進めていきたいと考えております。

本日は限られた時間ではございますが、活発な意見交換により有意義な会となりますことを願い、開会の挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。